

◇しずおか就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画における目標及び令和3年度の実績・評価

| 支援対象 | 目標および目標値（3年間） | 令和3年度における評価 | 事業計画に記載されているKPI | 令和3年度におけるKPIの進捗状況 | KPI進捗状況の評価結果 |
|-------------------|---|--|---|--|--|
| 不安定な就労状態にある方 | 正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について、現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を増やすことを目標とする。 | 関係機関と連携し、それぞれの窓口の周知や誘導、ハローワークでの求人確保、助成金制度の活用などの取組を進めた結果、ハローワークの正規雇用者数のKPIが目標の3分の1を超え、令和3年度の目標は達成したと思料。一部、「しずおかジョブステーション」に関するKPIが目標に届かなかったため、今後は窓口の周知や関係機関の連携した取組を一層進めることとしている。 | ①ハローワーク紹介による正社員就職件数：3年間で16,000件 ②キャリアアップ助成金活用による正社員転換数：3年間で6,000人 ③しずおかジョブステーションでの相談件数：3年間で9,100件 | ①令和3年度の正社員就職件数は5,366人となり、年間のKPIの数字は達成している。 ②令和3年度のキャリアアップ助成金の正社員転換数は2,705人となり、KPIの数字は達成している。 ③令和3年度の「しずおかジョブステーション」に配置した就職氷河期世代就職支援サポーターが行う相談件数は2,595件となり、KPIの数字は未達成である。 | ①令和2年4月から、ハローワーク静岡・浜松に「就職氷河期世代専門窓口」を設置。コロナの影響により令和2年度は厳しい状況であったが、専門窓口でのチーム支援の取組により、令和3年度は目標を達成し改善傾向にある。令和4年度も関係機関との連携を一層推進していく。 ②企業の同一労働同一賃金の導入により、コロナの影響もなく順調に推移しており、令和4年5月末時点で3年間の目標を達成した。 ③令和2年8月から就職氷河期世代支援サポーターを配置して取り組んでいる、コロナの影響で周知が十分にできず、相談を控える動きもあったが、令和3年度は関係機関とも連携して取り組んだことから目標には達していないが相談件数は増加している。 |
| 長期にわたり無業の状態にある方 | 就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーションを中心に、関係機関と連携しながら職業的自立につなげることを目標とする。 | 令和3年度はKPIが目標に届かなかったが、説明会、テレビ放映等による周知を図り、関係機関との連携を強化して相談体制の充実を図る取組を行った結果、KPIが改善してきている。今後も一層の窓口の周知、関係機関との連携強化を図り、職場体験・実習の実施件数を増やし、就労につながる支援を実施していく予定。 | ①サポステへの新規登録件数：3年間で1,900件 ②サポステの支援により就労につながった件数：3年間で1,300件 | ①令和3年度のサポステの新規登録件数は520人となり、KPIの数字は未達成である。 ②令和3年度のサポステの支援による就労につながった件数は343件となり、KPIの数字は未達成である。 | ①KPIの達成状況は未達成となっている。その理由として、令和2年度はコロナ禍により、説明会等が中止になり周知不足であった。これを踏まえ、令和3年度はオンライン説明会やテレビ放映等の周知を図り改善した。今後も一層の周知を図り、関係機関との連携強化し取組を推進する。 ②KPIの達成状況は未達成となっている。その理由として、令和2年度はコロナ禍により周知不足であったことから登録件数が少なく、面接会・職場体験等が中止になったためであると考えられる。令和3年度は面接会やセミナーの開催回数を増やし、関係機関との相談体制を充実させたことから改善した。今後も相談体制の一層の充実を図り、取組を進める必要がある。 |
| 社会参加に向けた支援を必要とする方 | 支援対象者やその家族の実態やニーズに応じた、就労に限らない多様な社会参加に向けた支援を可能とするため、市町レベルのプラットフォームの設置等、支援体制の充実を図り、支援対象者と社会のつながりが生まれることを目標とする。 | 令和3年度は市町への周知や個別支援の取組を行い、KPIの達成状況からも目標に向けた取組はおおむね順調である。今後は関係機関の連携を強化し、個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援を行っていくこととしている。 | ①市町のひきこもり相談窓口設置数：33市町 | ①令和3年度の相談窓口設置数は15市町となり、KPIの数字は達成している。 | ①KPIの達成状況からも目標に向けた取組はおおむね順調と思慮する。順調な成果が出た理由として、説明会等により市町への周知を図り、希望のあった市町に対して専門のアドバイザー派遣など、個別支援等の相談支援体制の整備を支援したことが考えられる。引き続き、周知及び個別支援の取組を進めていきたい。 |